



平成 18 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 栄 電 子
代表者名 取締役社長 芝 公男
(コード番号 7567)
問合せ先 総務課長 大久保 雅文
(TEL . 03 - 3836 - 6821)

貸倒損失等の特別損失発生に伴う業績予想の修正並びに配当予想の修正について

この度、当社において下記のとおり特別損失が発生する見込みとなったため平成 17 年 11 月 18 日の中間決算発表時に公表した業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 特別損失の発生及びその内容について

(1) 子会社長期貸付金に対する貸倒引当金の計上

当社の子会社、酒東不動産管理(株)に対する長期貸付金 158 百万円について、回収可能性を検討した結果、うち 130 百万円を回収不能額とみなし平成 18 年 3 月期決算において貸倒引当金に計上する予定であります。

(2) 有価証券評価損の計上

「その他有価証券」に区分される保有有価証券について、資産性を検討した結果、同決算において有価証券評価損として 42 百万円を計上する予定であります。

(3) 減損損失の計上

従来物流倉庫として利用していた不動産について、将来本社ビル建設のため物流拠点を移転することに伴い、遊休資産とみなし帳簿価額全額を減損損失として 22 百万円を計上する予定であります。

2 . 平成 18 年 3 月期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

上記 1 の状況を鑑み、次のとおり業績予想を修正いたします。

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,435	467	232
今 回 修 正 予 想 (B)	8,189	420	28
増 減 額 (B - A)	246	47	204
増 減 率 (%)	2.9	10.1	87.9
前期(平成 17 年 3 月期)実績	7,864	391	188

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 59 円 58 銭

3. 平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日）

上記 1 の状況を鑑み、次のとおり業績予想を修正いたします。

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	9,134	529	276
今回修正予想（B）	8,887	469	192
増減額（B - A）	247	60	84
増減率（％）	2.7	11.3	30.4
前期（平成 17 年 3 月期）実績	8,537	449	155

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期）69 円 01 銭

当社グループが属する産業用電子部品業界におきましては、デジタル情報家電機器の伸長が半導体需要の拡大を支え、電子部品の需要も堅調に推移いたしました。このような状況下におきまして当社グループは、新製品の取扱い、新市場、新規顧客の開拓と併せ産業機器全体への売り込みと、既存得意先への取引深耕に努力してまいりましたが、売上高、経常利益および当期純利益とも平成 17 年 11 月 18 日の中間決算発表時業績予想を下回る予想となっております。

平成 18 年 3 月期通期見通しといたしましては、単体では、売上高 8,189 百万円（予想比 2.9% 減）経常利益 420 百万円（予想比 10.1% 減）当期純利益 28 百万円（予想比 87.9% 減）又、連結では、売上高 8,887 百万円（予想比 2.7% 減）経常利益 469 百万円（予想比 11.3% 減）当期純利益 192 百万円（予想比 30.4% 減）を見込んでおります。

4. 平成 18 年 3 月期期末配当予想の修正について

当社の利益配分につきましては当社にとって最重要事項と認識し、安定した配当を基本方針としており、平成 18 年 3 月期の配当を下記のとおりといたしました。

平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日）配当

	前回予想 （平成 17 年 11 月 18 日）	今回修正	（ご参考）前期実績 （平成 17 年 3 月期）
1 株当たり中間配当	- 円 - 銭	- 円 - 銭	- 円 - 銭
1 株当たり期末配当	12 円 00 銭	15 円 00 銭	12 円 00 銭
1 株当たり年間配当	12 円 00 銭	15 円 00 銭	12 円 00 銭

以 上